

# 麻生リハビリ総合病院だより



<https://www.souseikai.net/rehabilitati>

総生会 理念 常に最善を飽くことなく追求し、質の高い安心の医療を提供する

すべて小田急線柿生駅から徒歩圏内にあります。

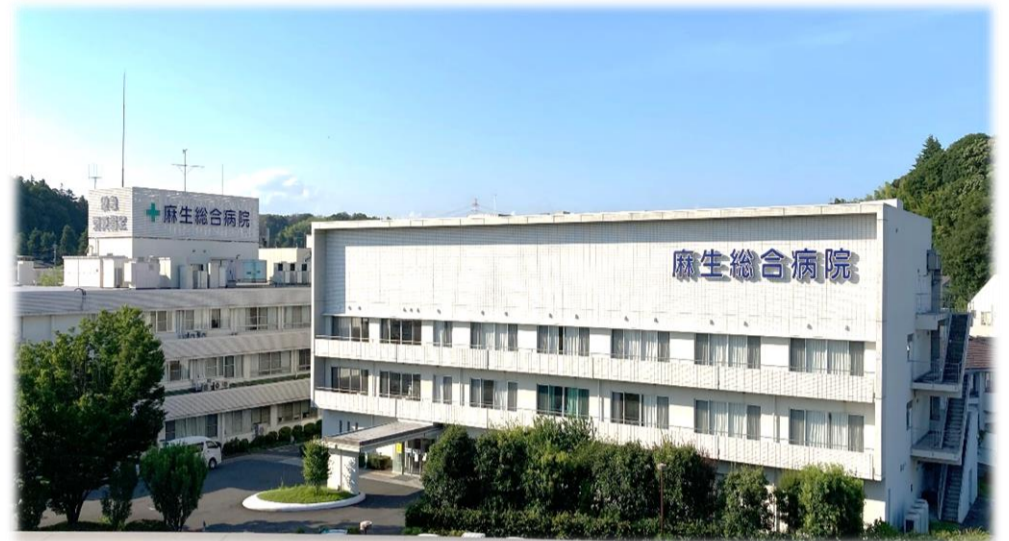
私たち 麻生リハビリ総合病院 は「医療法人社団 総生会」6事業所のうちの一つの病院です!

## 麻生リハビリ総合病院 (180床)

2001年開院で、回復期リハビリテーション病院としては歴史が長く、病棟(45床×4病棟)すべてが回復期となっております。川崎市内の回復期では最大の病床数を有しています。

リハビリスタッフは約130名在籍しており、医学的管理のもと、質の高いリハビリが365日提供可能です。

同法人の麻生総合病院をはじめ、近隣の急性期病院と連携を強化し、患者様の早期受け入れ、早期退院を支援しています。



## 麻生総合病院 (199床)

1982年に開院して以来、救急医療を中心とした地域密着型医療を展開し、急性期病院として様々な特徴を有しながら、これまで成長してまいりました。現在は199床※(HCU病棟8床、急性期一般病棟141床、地域包括ケア病棟50床)となっております。 ※フェーズにより新型コト専用病床に一部転換

病気やケガの治療を終えた回復期リハビリテーション病棟に入院適応のある患者様は、隣接の麻生リハビリ総合病院にスムーズに転院が可能です。

24時間365日、救急医が対応できる体制が整っており、地域の皆さまが安心して暮らせるような救急受入体制を築いております。

### 無料シャトルバス運行中

- ①新百合ヶ丘駅(北口)⇄病院
- ②柿生駅(北口) ⇄ 病院

運行日:月曜日~土曜日(日・祝日除く)



◆20分間隔で運行しています

介護付有料老人ホーム

## 総生会ロイヤルホーム (居室60室、定員68名)

心のくつろぎを大切に、常に入居者様の立場で考え、入居者様に心から幸福感を感じていただけることを目指しています。

介護はもちろん看護師も24時間体制。緊急時には隣接する麻生総合病院及び麻生リハビリ総合病院と連携して速やかに対応いたします。

季節ごとにイベントを実施し、ご入居者様に楽しんでお過ごしいただいています。



☆4階には庭園があり、花や野菜を育てています

## 麻生総合病院 総生会 健診センター

(麻生リハビリ総合病院1階)



2021年開設で、病院内健診施設のため、充実した医療機器と各専門医の診断により、精度の高い診断を行います。また、女性のための健診も充実しております。

併設医療機関があるので健診後の再検査や治療へスムーズに移行が可能です。

## 総生会 訪問看護ステーション

看護師14名、リハビリスタッフ6名在籍  
リハビリ総合病院から言語聴覚士3名応援



病気や障がいを持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、専門の看護師・理学療法士等が利用者様のご家庭を訪問し、自立への援助を含め、在宅での療養生活が安心して送れるように支援いたします。

## 総生会 居宅介護支援センター



ケアマネジャーが2名在籍

自転車等でご自宅に訪問します

地域の行政・各サービス事業者などと綿密な連携を図り、ご利用者様とご家族様が可能な限り住み慣れた地域・ご自宅で「その人らしい生活(生き方)をすること」「介護者の方の生活が安定すること」ができるよう、お手伝いをさせていただきます。

## 総生会のあゆみ

~麻生病院開院から40年~

- 1982年11月 「麻生病院」開設(68床)
- 1996年 7月 麻生病院を医療法人化『総生会』誕生
- 2000年 2月 「総生会訪問看護ステーション」開設
- 2000年 4月 居宅介護事業室(現「総生会居宅介護支援センター」)開設
- 2001年10月 「麻生リハビリ総合病院開設」(180床)
- 2008年10月 麻生病院から「麻生総合病院」に名称変更
- 2011年10月 介護付有料老人ホーム「総生会ロイヤルホーム」開設(68床)
- 2018年 2月 総生会訪問看護ステーション  
総生会居宅介護支援センター } 現在の事務所へ移転
- 2021年 4月 「総生会健診センター」開設(麻生リハビリ総合病院内)



Pick up!

# 2022年度 患者満足度調査を実施しました

当院では、入院・外来患者様の視点で「医療サービス」を評価していただくため、患者満足度調査を実施いたしました。アンケートを行い当院への評価・満足度を把握し、その問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的としております。

## 【入院患者満足度調査】

実施期間：2022年4月1日(金)～30日(土)

対象者：期間中に退院なさる患者様

実施方法：医事課スタッフより調査票を配布



## 【外来患者満足度調査】

実施期間：2022年4月11日(月)～23日(土)

対象者：期間中に外来受診なさる患者様

実施方法：医事課スタッフより調査票を配布

### ❖満足・やや満足の評価を多くいただいた項目❖

『リハビリスタッフについて』・・・**91.7%**

『看護師について』・・・**85.4%**

『看護補助者について』・・・**86.4%**

『担当医師について』・・・**83.8%**

『地域医療支援課スタッフについて』・・・**84.0%**

『当院に対する総合的な満足度について』・・・**94.8%**



#### 【患者様からのご意見】（一部抜粋）

- ・ソーシャルワーカーさんが親切だった。
- ・お世話になりました。リハビリの質の高さに感謝いたします。
- ・(オンライン面会の)端末を貸して頂いたので大変助かりました。
- ・回復するたびに多くのスタッフから頑張ったねと声をかけられたのが励みになりました。
- ・家族から見ても、とてもよくしてくれたと思います。

### ❖満足・やや満足の評価を多くいただいた項目❖

『リハビリスタッフについて』・・・**98.3%**

『看護師について』・・・**75.6%**

『診察した医師について』・・・**85.5%**

『受付・会計窓口での手続きや対応について』・・・**81.0%**



#### 【患者様からのご意見】（一部抜粋）

- ・長い間お世話になっているので先生を始め職員の方々も皆さん親切なので、気を遣わずに通えるので助かります。コミュニケーションも大事なことだと考えています。
- ・スタッフの皆さんに丁寧に色々アドバイスを頂き感謝しています。

### ❖満足・やや満足の評価が少なかった項目❖

『院内の設備・備品について』

『受付から診察までの待ち時間について』

#### 【患者様からのご意見】（一部抜粋）

- ・全体的に照明が暗く、問診票が書きづらかった。
- ・売場に雑誌を置いて欲しい。
- ・車椅子用のトイレの出入口ドアは、手動ではなく電動が良い。
- ・もう少し、待ち時間を減らしてほしい。



### ❖満足・やや満足の評価が少なかった項目❖

『院内の設備・備品について』

『食事について』

#### 【患者様からのご意見】（一部抜粋）

- ・病室の閉塞感に慣れなかった。
- ・感染防止のため、病室のドアを閉めていて部屋が暑かった。
- ・料理の量が多かった。
- ・魚の種類がわからない料理が多かった。メニューが貼ってあっても見に行くことができなかった。
- ・もう少し味が濃かったらもっとおいしく食べられたかもしれません。
- ・オンライン面会の方法がわかりづらかった。



#### 【調査を終えて】

- ・コロナ禍ということで、患者様・職員ともに影響を受けていたということがわかった。患者様からは色々なご意見をいただき、感染対策上とはいえ、患者様に不便な思いを感じさせてしまっていたことが浮き彫りとなった。コロナ禍における患者様へのサービス向上を、さらに考えていかなければならない。
- ・当院はコロナの影響で直接対面での面会を制限しており、オンライン面会ができる体制を整えているが、その点についてもご意見をいただいたので、改善できるよう努めていきたい。

#### 【調査を終えて】

- ・当院の外来は予約制としているが、ご指摘の通り、予約であっても待ち時間が多く発生してしまっている。患者様に待ち時間が少なくなるような予約の受け入れ、ご案内をしていきたい。
- ・お待ちいただいている患者様に対して、本・雑誌等を設置していたが、コロナ禍は設置ができなくなってしまった。待ち時間に対する不満を可能な限り軽減できるよう代案としてフリーWi-Fiの設置を行い、好評をいただいている。
- ・当院の外来では発熱症状の患者様へのPCR検査を行っていないため来院されたときに同法人である麻生総合病院の発熱外来への案内や他院への案内が必要となる。スムーズに対応できるように心がけたい。
- ・当院は2021年で開設20年を迎えた。20年ともなるとどうしても経年劣化を防ぐことができず、各所に現れ始めている。来院される方が気持ちよく院内で過ごせるように設備の見直しをしていきたい。
- ・医師、職員に対してお褒めの言葉を多くいただいた。今後も継続できるように、接遇面での研修を継続し、至らなかった点については全員で見直しを行いたい。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。患者の皆様には、今後とも率直なご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。





## 地域医療支援課は、入退院の調整や相談支援を行う部門です！

- ・入院相談の窓口として、急性期病院との連絡や調整、患者様やご家族様に安心してご入院いただくためのご説明やご案内をしています。
- ・各病棟の担当ソーシャルワーカーが、より快適な入院生活を行っていただけるように、入院中の不安や悩み事の相談に応じます。
- ・退院後の生活が安心して送れるように、患者様やご家族様の希望や心配事を伺いながら、相談援助・社会資源の情報提供を行います。



院内の他の専門職と連携を図りながら、支援をいたします。  
また、退院後の生活に向けて各専門機関と連絡調整を行います。

担当ソーシャルワーカーが、個別に相談に応じます。  
他の人に知られたくない内容の場合は、秘密を厳守いたしますので、安心してご相談ください。



患者サポートセンターを設置しております！

入院を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

TEL:044-981-6835 / 044-987-2203 受付時間:月曜日～土曜日(日曜・祝日を除く) 午前9時～午後5時

## 診療実績のご報告

直近6ヶ月(2022年1月～2022年6月)の診療実績報告です。  
「回復期リハビリテーション病棟入院料I」では、実績指数40以上が要件となっておりますが、大幅に上回る実績指数をキープしています。在宅復帰率も79.5%となっております。高い実績となっております。

### 実績指数

2020/1~ 2020/6	2020/4~ 2020/9	2020/7~ 2020/12	2020/10~ 2021/3	2021/1~ 2021/6	2021/4~ 2021/9	2021/7~ 2021/12	2021/10~ 2022/3	2022/1~ 2022/6
45.8	48.7	54.5	54.4	50.1	51.0	52.0	51.6	50.4

回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件		当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	50.4
自宅等に退院する割合	70%以上	79.5%
重症者の割合	30%以上	49.5%
退院時の日常生活機能評価4点(FIM16点)以上改善	30%以上	72.5%

### 在宅復帰率(退院先内訳)

退院先	2022年1月～2022年6月	
	人数	割合
自宅	280人	69.1%
特別養護老人ホーム	12人	3.0%
有料老人ホーム	23人	5.7%
介護医療院	2人	0.5%
グループホーム	5人	1.2%
急性期病院	20人	4.9%
慢性期病院	15人	3.7%
介護老人保健施設	38人	9.4%
その他	10人	2.5%
合計	405人	100.0%
在宅復帰 合計	322人	79.5%

### 実績指数とは

ADLの評価法の1つであるFIM(機能的自立度評価法)を用いて、入棟期間中にFIM運動項目がどれだけ改善したかを指標化したものです。入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど実績指数は高くなり、数値が高い病院ほど、短期間で効果の高いリハビリテーションを提供する病院と言えます。2016年の診療報酬改定で導入され、当院が届出をしている施設基準「回復期リハビリテーション病棟I」では2020年の診療報酬改定で、実績指数が40以上であることが要件とされています。

また、実績指数は下記の計算方法で表すことができます。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{退院時のFIM運動項目の得点} - \text{入院時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

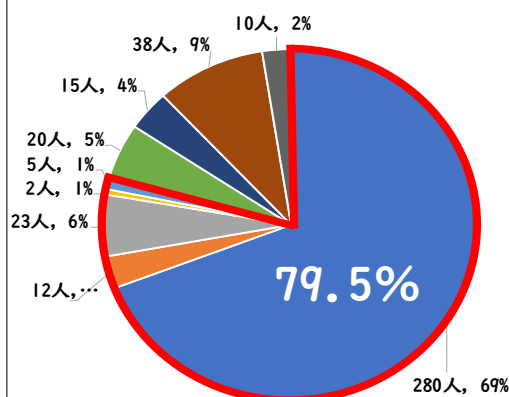
### FIMとは

「Functional Independence Measure」略語で、日本語で「機能的自立度評価法」という意味になります。FIMの評価項目は、運動項目と認知項目の計18項目で、各項目を1点～7点の7段階で評価します。コミュニケーションや社会的認知などの認知項目を含むため、実際に日常生活で行っている動作を評価する、変化を確認するのに最適な評価方法です。

### ADLとは

「Activities of Daily Living」の略語で、日本語では「日常生活動作」という意味になります。日常生活を送るために最低限必要な日常動作で、「起居・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」といった動作のことです。

### 在宅復帰率





## 委員会風景



(昨年度の活動の様子)

## 院内レクリエーション委員会 活動内容のご案内

長い入院生活の中で季節の移り変わりを感じていただきたく、「院内レクリエーション委員会」では定期的にレクリエーションを企画・運営しております。当委員会は各部署から集まった多職種20名のスタッフで構成されており、患者様が楽しんで参加していただけるような企画を立案・検討しております。

春



夏



集まりが制限される中ではありますが、秋の文化展では大きな模造紙に患者様各々が作製したものを貼り付けて、ひとつの作品を作り上げました。ご自身が作製したものが大きな作品になっていく過程を経て、達成感を味わっていただいたり、他のグループの作品を見て楽しんでいただいたりとても好評をいただきました。開催期間中は患者様同士の交流が深まる様子も見られ、レクリエーション企画は入院生活において大切なコミュニケーションツールのひとつとなっております。

「院内レクリエーション委員会」は、今後もレクリエーションを通して入院生活に彩りを添えられるような活動をしていけるよう努めて参ります。

## 面会のご案内

現在、当院では面会の制限を行っておりますが、患者様、ご家族様に少しでも安心していただけるようにタブレット端末を使用したテレビ電話によるオンライン面会を実施しております。(予約制)



面会のお申込みはお電話にて承っております。

電話：044-981-6878(代表)

受付時間：14:00～17:00(月～土曜日)



面会の制限は、今後変更となる場合がございます。詳しくはお気軽にお電話にてお問合せください。

## 交通のご案内



無料のシャトルバスを  
ご利用ください!

新百合ヶ丘駅(北口) 柿生駅(北口)

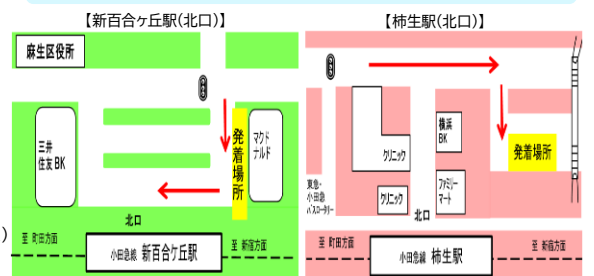
約15分 約10分

麻生リハビリ総合病院

【運行日】月曜日～土曜日(日・祝日を除く)  
20分間隔で運行いたします。

◆シャトルバスは道路事情により運行が遅れる場合があります。車いすの患者様もご利用いただけます(新百合ヶ丘駅発着のみ) 運行時刻など、詳細はお気軽にお問合せください。

## 乗降場所



医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院

発行:医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院  
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生6-23-50  
TEL (044)981-6878 / FAX (044)981-6871



第9号 院外広報誌  
発行日:2022年10月1日  
発行者:広報委員会

